

アンケート調査結果のまとめ

項目	内容					
調査目的	本アンケート調査は、長期的な視点に立ち公共施設等の施設量や具体的な方策をまとめた「羽幌町公共施設マネジメント計画（仮称）」の策定にあたり、公共施設等に対する意見を広く取り入れるべく、その手段の一つとして実施するものです。					
調査方法等	区分	調査対象者数	調査方法		調査期間	
	町民	1,200票	直接郵送、返信用封筒にて回収		5月25日～6月8日	
抽出方法	町民	1,200名を無作為抽出				
回収状況	区分	(A) 配布数	(B) 無効調査票	(C) 有効調査票 (A)-(B)	(D) 回収数	(E) 回収率 (D)/(C)
	町民	1,200	0	1,200	331	27.6%
項目	内容					
調査結果 (概要)	<p>【公共施設等への満足度について（問4）】 「ほぼ満足している」が46.2%と最も多く、「満足している」が7.3%となっており、両方を合わせると約半数の町民が満足していると答えています。</p> <p>【予算に制約が無い場合の公共施設等の量について（問6）】 「現状のままで良い」が34.4%と最も多く、次いで「施設の量を減らすべき」が26.9%となっています。仮に、予算に制約が無いとしても、施設の量は現状維持、若しくは減らすべきという意見が多くなっています。</p> <p>【公共施設等の維持管理費に対する利用者負担・税負担割合について（問7）】 「現状のままで良い」が45.3%と最も多く、次いで「税負担は仕方ないが、利用者負担を増やすべき」が37.8%となっています。約半数近い町民は、利用者・税負担の割合は現状のままで良いと感じており、一方で、約4割の方は施設の維持にあたり利用者負担を増やすべきと考えています。</p> <p>【公共施設の縮小や廃止、複合化の取組に対する賛成・反対について（問10）】 「賛成」が49.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が37.5%となっており、「賛成」と「どちらかといえば賛成」の両方を合わせると約9割の町民が公共施設マネジメントによる施設の縮小や廃止、複合化の取組に対して賛成しています。</p> <p>【公共施設マネジメントの取組による影響を容認できるかについて（問11）】 「ある程度までは容認できる」が64.7%と最も多く、次いで「容認できる」が22.7%となっており、「容認できる」と「ある程度までは容認できる」の両方を合わせると約9割の町民が公共施設マネジメントによる影響に対して容認できると答えています。</p> <p>【公共施設マネジメントの取組で重点を置くべき点について（問12）】 「老朽化が著しい施設」が21.5%と最も多く、次いで「利用者が少ない施設」が20.7%となっており、老朽化が著しく危険な施設や稼働率が少ない施設の整理に重点を置くべきとしています。</p> <p>【公共施設の更新や維持に財源が不足する場合、どう対応すべきかについて（問13）】 「財政状況に見合った施設量にする」が67.4%と最も多く、次いで「わからない」が10.6%となっており、約7割の町民は公共施設等を縮小・廃止するなど財政状況に見合った適切な施設量にすべきとしています。</p>					
まとめ	<p>公共施設マネジメントの総論については、約9割の町民が「賛成」しており、施設の縮小・廃止や利用料の値上げなどの影響に対しても約9割の町民が「ある程度までは容認できる」という考えを示しています。</p> <p>また、マネジメントの取組については、財源が不足する場合「財政状況に見合った施設量にする」べきとしており、施設量を減らすことを検討した場合「老朽化が著しい施設」や「利用者が少ない施設」を重点に進めるべきと答えています。</p> <p>自由記述等においては、「財政規模に見合った施設量にすべき」という意見や、「使い易い施設」、「人を呼び込む施設」、「児童館や公園などの子育て施設」が求められています。</p>					